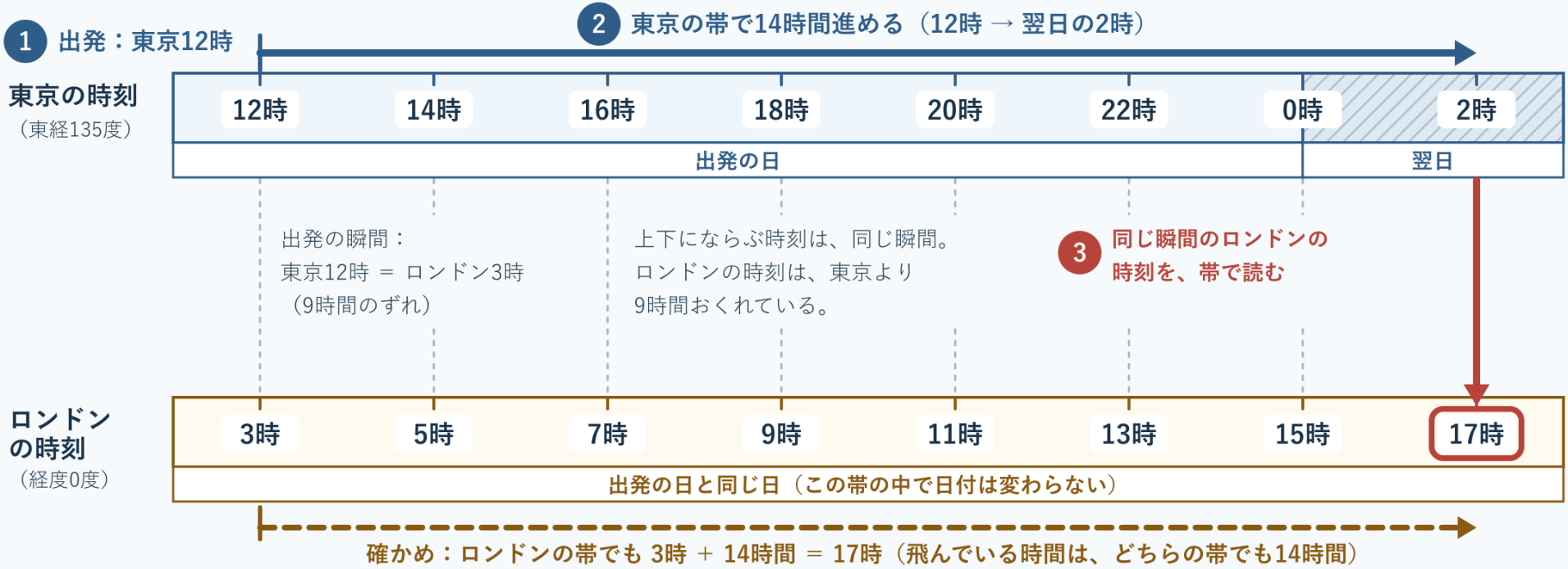
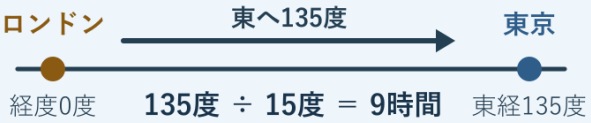
時差で考える到着の時刻（東京からロンドンへ）

東京を正午に出発し14時間飛ぶ飛行機は、ロンドンに現地時刻の何時に着くか



時差を経度から求める



経度15度で1時間ずれる。

東にある東京のほうが、時刻が進んでいる。

足すか引くかを、位置で決める

出発の時刻	**12時**
＋ 飛行時間	**14時間**
− 時差	**9時間**
＝ ロンドンの到着	**17時**

ロンドンは東京より西で、時刻がおくれているので、時差を引く。

12 ＋ 14 − 9 ＝ 17

日付に気をつける

着いた瞬間、東京はもう翌日の2時。ロンドンは、出発した日と同じ日の17時。時計と日付は、着いた土地の時刻に合わせて読む。

帰りに東へ向かうときは、時差を足す。

※ 標準時で考え、イギリスの夏時間は考えない。飛行時間14時間は計算のための例で、実際の便の時間ではない。